

令和4年第7回半田市議会臨時会建設産業委員会委員長報告書

当建設産業委員会に付託された案件については、本日、午前10時から、議会議室において、委員全員出席のもと、慎重審査しましたので、その経過と結果をご報告申し上げます。

議案第57号中、当委員会に分割付託された案件及び、議案第58号については、一括議題とし、それぞれ補足説明の後、質疑に入り、主な質疑として、

公共交通対策事業について、物価高騰に伴う市民生活への影響緩和や、公共交通の利用促進のために、国の地方創生臨時交付金を活用し、市内路線バスの無料乗車キャンペーンを展開するとのことだが、市費を投入しても、今後も引き続き支援をする考えはあるのか。とに対し、

今回は、国の交付金を活用して、物価高騰に伴う市民生活の負担軽減のため行うとともに、この機会に乗車をいただくことで利用促進を図るため実施するものであり、今回、実施することで多くの人に利用していただけるように取り組んでまいります。とのこと。

路線バス事業者、タクシー事業者への燃料価格高騰に伴う経営圧迫を和らげるため、国の地方創生臨時交付金を活用し、燃料費支援を行うとのことだが、支援金額の積算根拠は何か。とに対し、

タクシー事業者については、他の区市町の支援金額及び愛知県の支援金を踏まえ、1台当たり3万円としています。バス事業者については、タクシー事業者への支援が燃料経費高騰分の約2割に相当する金額のため、同様に算定し燃料費高騰分の約2割に相当する、4万円を支援金額としたものです。とのこと。

物産品等オンライン販売促進事業について、令和3年度に行ったキャンペーンと比較し、今回のキャンペーンでは、送料を無料とした上で商品の本体価格を20%オフとした理由は何か。とに対し、

昨年度のキャンペーンでは価格帯の低い商品は、30%オフの割引分が送料で消費されてしまい、お得感がないとの声を多く聞いたため、商品本体価格の割引を実感してもらうために仕組みに変更したためです。とのこと。

EC サイトでの支払い方法は、限られたクレジットカードのみとのことだが、他の支払い方法を追加することは考えなかったのか。とに対し、

委託先である半田市観光協会と調整する中で、手間等も考慮し今回は他の支払い方法に関しては採用することができませんでしたが、今後新たにキャンペーンを行う機会があれば、ご意見を参考にさせていただきます。とのこと。

売上げが少ない出品者に対して、何か支援を行うことは考えているのか。とに対し、

売上げが大きい出品者の中には、SNSを活用して有効にPRを行っている方もいるため、そのような成功例の情報を提供していきたいと考えています。とのこと。

前回のキャンペーンでは、売上げの実績値が総売上げの目標値の6割程度しか達成することができなかったとのことだが、今回の総売上げ目標は、達成できると見込んでいるのか。とに対し、

前回は、送料を含めた価格の30%オフであったことや、委託からキャンペーン開始までの期間も短かったこともあり、掲げた目標を達成することはできませんでしたが、今回は割引内容の変更により半田市民も含め多く方にお得感を感じてもらえる内容とした他、PRも十分に行うことから、目標値を達成できると考えています。とのこと。

水道料金について、一時的に基本料金の全額を減免することとのことだが、検針時期によって地区ごとにばらつきがでるため、一律のタイミングで減免することは考えなかったのか。とに対し、

一律のタイミングで減免するためには、現在の隔月で検針・料金請求するスケジュールとは異なった作業が必要となること、支援自体は期間全体で同等の内容となることから、費用対効果を考慮して、現在の料金請求のタイミングとしました。とのこと。

一般会計からの補助金ではなく、水道事業会計の中で、基本料金減免の資金を捻出しないのか。とに対し、

この施策は半田市としての支援策の一環であること、また水道事業は、水道料金による独立採算で運営しており、余剰な資金はないことから、補助金を得て実施したいとするものです。とのことでした。

その後、討論を省略し、それぞれ採決した結果、2議案とも、委員全員をもって、原案のとおり、可と認めることに決定しました。

以上、ご報告申し上げます。